

Event

宗像ユリックス（福岡県宗像市）にて防災訓練が行われました。

令和7年6月、国内初となる常設自己処理型水洗トイレ『トワイレ・リベルテ』が宗像ユリックス芝生広場の西側エリアに納入されました。

納入から約1年が経過した令和8年5月19日、新緑がまぶしい晴天の中、宗像ユリックスにおいて防災訓練が実施されました。このトイレは通常時は下水道直結・上水道引き込みによる一般的な公衆トイレとして利用されていますが、自然災害等によりライフラインが停止した際には手動で切り替え操作を行うことで、即時に自立循環運転となり災害時でも衛生的な水洗トイレとしてお使いいただけます。

今回の防災訓練では、ライフライン停止を想定し、以下の実地訓練が行われました。

- ①下水道へ排水していた汚水を、内部循環に切り替え
- ②上水道使用から、内部循環による中水へ切り替え
- ③余剰水タンクの接続確認（約4000回分利用可能）
- ④長期間の日照不足によりソーラー発電の蓄電池が電欠した場合を想定した発電機接続訓練
- ⑤日常点検および年次点検に関する説明・確認

この訓練により「トワイレ・リベルテ」が平常時の公衆トイレとしての利便性に加え、災害時には迅速に防災トイレへ切り替え可能な実効性の高い設備であることが改めて確認されました。

●トワイレ・リベルテ全景



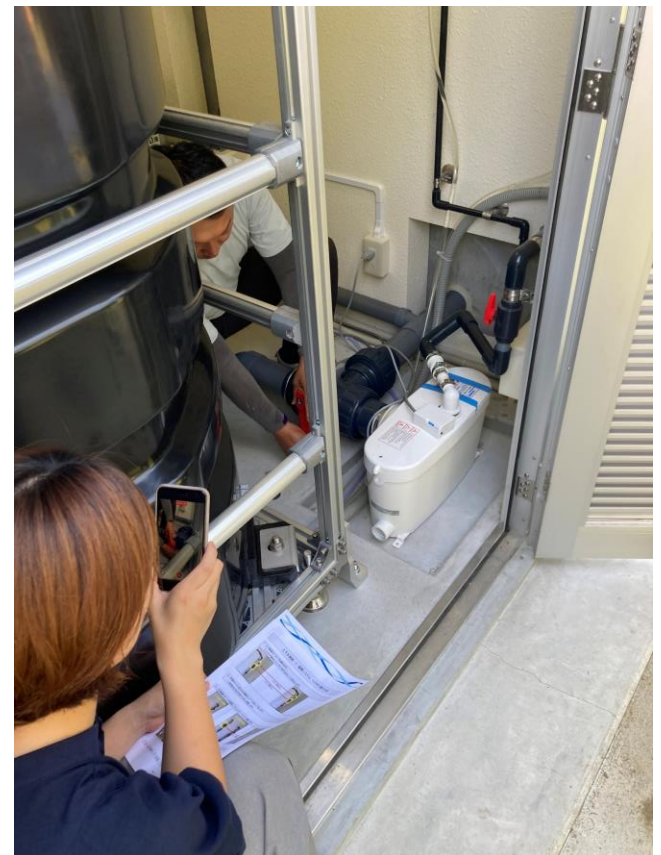
●説明の様子



●上水道使用から内部循環による中水への切り替え説明



●下水道へ排水していた汚水を内部循環への切り替え説明



■宗像ユリックスのご紹介

<https://yurix.munakata.com/>

■むなかた観光ガイド

<https://www.city.munakata.lg.jp/kanko/>